

市立

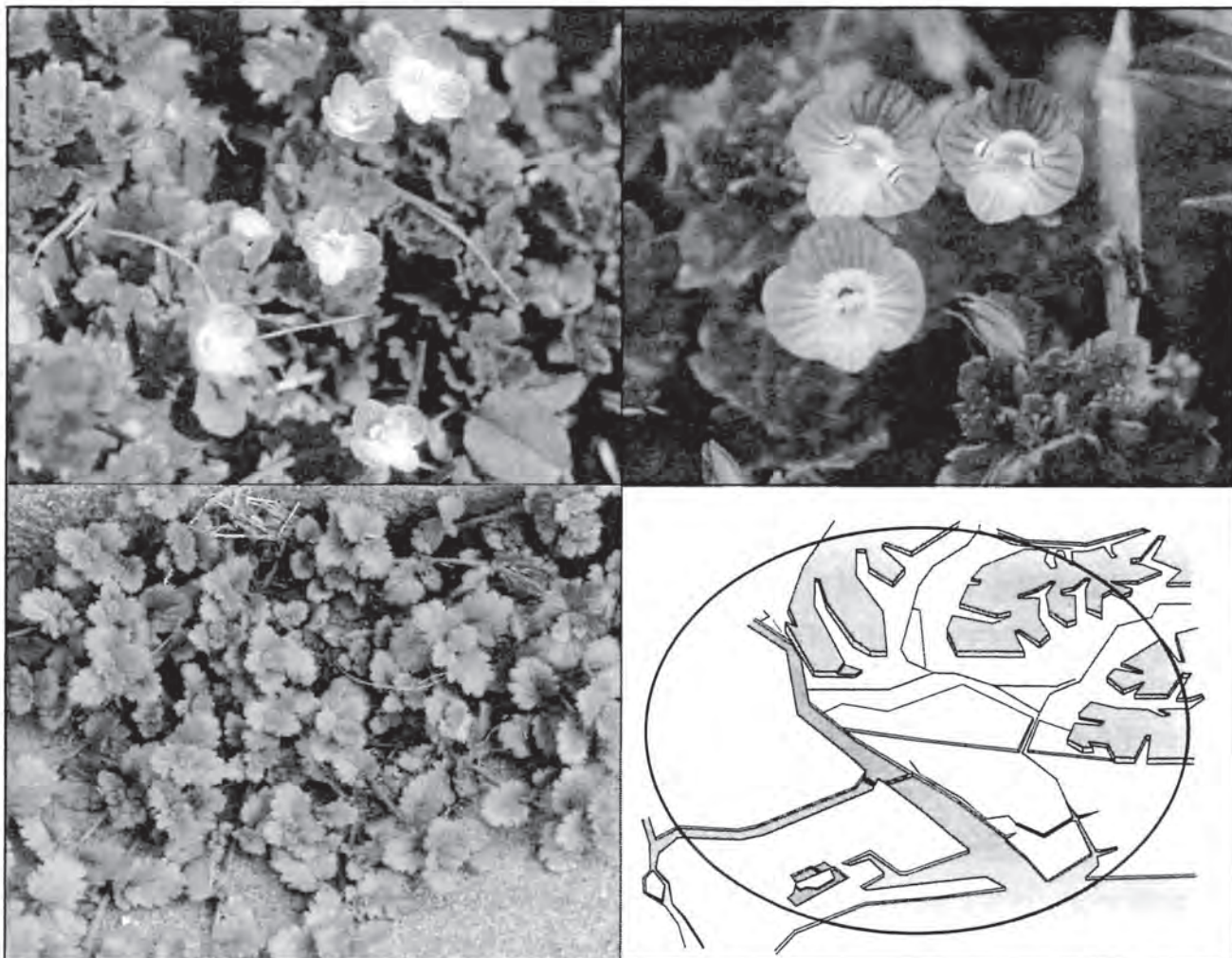
2007 年（平成 19 年）2 月 1 日発行

市川自然博物館

2-3 月号 （通巻 108 号） だより



自然博物館のめ



オオイヌノフグリ

左上：地面をおおうように群生する。
左下：鋸歯の目立つ円っこい葉。

右上：4 弁の合弁花。花弁の形はそれぞれ違う。
右下：市内全域で見られる身近な植物。

今年度の特集は、博物館の観察日誌に記録された様々な内容を、
「生き物カレンダー」としてまとめました。今月は『**2・3月**』を紹介します。

博物館の観察日誌より VI

いちかわ 生き物カレンダー

2月・3月



今年度の特集では、平成10～17年度(1998～2005年度)の博物館の自然観察記録を、歳時記風にまとめて紹介してきました。市川という地域で見られた、ここ8年間の、季節ごとの自然の様子です。これらが、どのように変わってゆくのか、観察記録を続ける事で見えてきます。

○市川の2月

1月下旬から2月上旬にかけてが、1年で1番寒い季節です。最低気温や月ごとの気温の平均をみると、ほとんどの年で1月よりも、2月の方が多少は高く記録されています。2月に入ると寒さの峠は越したように見えますが、強い北風の日や霜や氷の張る日も多く、まだまだ体感的に寒く感じられます。

植物では、場所による日当たりや風当たりなどの要素が、生育の良し悪しに影響しているのがよくわかります。道端の陽だまりでは、背丈の低いオオイヌノフグリの青い花、ホトケノザの紫の花が目立ちます。林の縁では、場所によってニワトコの冬芽が割れて、中から葉や花の芽が顔を出し始めます。

動物では、枝先に残っていた実も少なくなり、地面で採餌する野鳥の姿が目立つようになり、双眼鏡に頼らなくても、バードウォッチングができるチャンスもあります。雑木林の落ち葉の上には、丹念に割られた数ミリほどのイヌシデの実の殻がたくさん落ちています。

○市川の3月

3月は、多くの生き物が活動を始める時期ですが、生き物の様子を観察することで、その年の冬がどういう気候だったのかもよくわかる月です。暖冬だった、乾燥していたなどの全国的な傾向、雪が回数多く降った、積雪がなかなか融けなかったなどの地域的な傾向などが、生き物の活動開始の引き金などに、影響を与えるようです。たとえば気温では、早春の雑木林で目立つコブシの開花が、暖冬傾向の年では2月下旬に、寒さが厳しい年では3月中旬過ぎと半月ぐらいの差があります。動物では、地中にもぐって冬眠しているヒキガエルの産卵行動が、早い年で2月の下旬、遅い年で3月末頃と、1ヶ月もの開きがあります。又、いわゆる寒の戻りによって、最初の産卵の後、しばらく間があくこともあります。

一方で、年ごとの気候の違いに、あまり左右されることなく活動する生き物もいます。3月は、過去の観察記録を見つ、自然の移り変わりに目が離せない月です。

いちかわ生き物カレンダー 2月

植物のうごき



オオイヌノフグリ

フキノトウが地面から
顔を出す

陽だまりでオオイヌノフグリが
咲き出す

オオハナワラビが孢子葉を出す



ハンノキ

ヤマハンノキの花が咲く

ハンノキの花満開になる



クレソン

湿地でセリやクレソンの
みずみずしい青葉が目立つ

ニワトコの冬芽が割れて
葉や花の芽がでる

ネコヤナギのふかふかの芽が
出てくる



ホトケノザ

ホトケノザの紫の花が
咲き出す



コハコベ

ハコベの花が咲き始める

スギの花が咲き始める

谷津の水路で
アオカワモズクが見られる



カワモズク

動物のうごき



ヒバリ

ヒバリがさえずりはじめる

アカガエルの子が盛んになる
雨ごとに卵塊の数が増える

フクロウが巣箱の様子を見に来だす

カケスがよく見られる



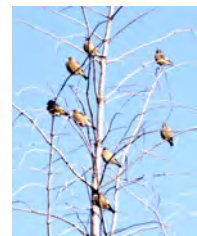
ノスリ

オオタカ、ハイタカ、ノスリなど
猛禽類の姿が見られる

早春に見られる蛾
シモフリトゲエダシャクがみられる

アカガエルのおたまじゃくしが
見られる

カワラヒワの群れが
林床で種子を探す



カワラヒワ

二月上旬

二月中旬

二月下旬

ウグイスがさえずり始める

ホオジロ、ジョウビタキなども
さえずりはじめる

キジバト、カラス、ヒヨドリなどの古巣を
街路樹や公園で見つけやすい

暖かい日には干潟で
カニの姿が見られる



キジバトの古巣

いちかわ生き物カレンダー 3月

植物のうごき



クサボケ

ナズナの花が咲く
カンヒザクラが咲き出す
セントウソウが咲く
クサボケの花が咲く



フキ

フキの花が咲く
シュンランが咲く
ウグイスカグラのピンクの花が咲く
田んぼの畦は花盛り
タガラシ、タネツケバナ、ハコベなど
センボンヤリが咲く
ヤナギ類の花が咲く
コブシの花が咲く



イヌコリヤナギ

コブシ満開になる

林の中でタチツボスミレが咲く

ツクシが出る

サンシュユ咲く

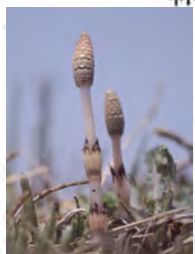
土手でノウルシ咲き出す

田んぼの畦でタビラコ咲く

ソメイヨシノが咲き出す

ハクモクレン、ジンチョウゲ、レンギョウ
など住宅地の花木がきれいになる

カントウタンポポが咲き出す



スギナ(ツクシ)

三月上旬

動物のうごき

暖かい日にはキタテハ、ルリタテハなどの
成虫越冬の蝶が飛ぶ

シジュウカラ、メジロ、コゲラ、キクイタダキ、
エナガなどの小鳥が混群をつくる

ヒキガエルの産卵始まり
湿地から鳴き声が聞こえる

ヒバリが高らかにさえずる
ヤマシギが見られる



ヒキガエルの卵塊

ツバメが渡ってくる

カモの仲間、モズ、カワセミなど、
鳥のペアが見られる

フクロウが巣箱に入る

クサガメが見られはじめる

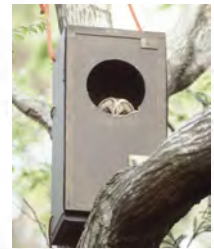
ヒキガエルの産卵が盛んになる

つがいのオシドリが見られることがある

冬眠から覚めたナミテントウが
活動を始める

クレソンにスジグロシロチョウがくる

アカガエルのオタマジャクシが
よく動いているのが目につく



フクロウ



スジグロシロチョウ

鳥が巣材を運ぶ姿を見る

アオダイショウが見られはじめる

蛹で越冬したアオスジアゲハや
ヤマトシジミなどの蝶が見られはじめる

旧江戸川を稚アユが遡上を始める

ニホンミツバチが分蜂することがある

成虫越冬したホソミオツネトンボが
林の中をフワリフワリと飛ぶ

谷津の小川で産卵する
絶滅危惧種のスナヤツメが見られる



スナヤツメ

三月下旬



街かど自然探訪

おじゃまします!

しおやき

塩焼 1～5丁目・塩焼中央公園

塩焼1～5丁目は、昭和46年の土地区画整理によってできた比較的新しい町のため、樹木は街中に少なく、街路樹や公園に多く見られます。塩焼中央公園は、塩焼小学校の向かい側にあって、野球場やテニスコートのある大きな公園です。3月初旬には野球場の周りで、ハコベやホトケノザの花に混じって、どこかの花壇から逃げ出したノースポールの花があちこちで咲いていました。野球場は、日当たりが良いため春も早く来ているようです。



くすのきのあるバス通りから No.53

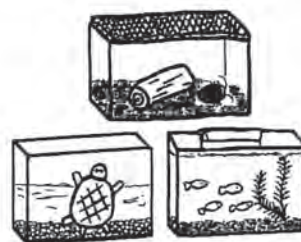
ハクビシンを見ました

1月6日朝6時20分頃、市役所の裏の京成電車の踏み切りの、少し北側の道路でハクビシンを見ました。まだ、暗い時間ですが、足は短く、尻尾が長く、先が黒い動物が車のライトで道路を横切るのが見えました。タヌキかイタチかと思っていたのですが、横から見た特徴を自然博の方に話したら、ハクビシンとの事です。前回書いた、「住み着いているらしい。」との友人に直接会って聞いた所、「9月3日夕方暗くなってから、二階の

窓を開けたとき、別棟の屋根から降りようとしているのを、正面から見た。鼻に白い線があり、胴と同じぐらい尻尾が長かった。」との事です。「庭の池には例年カエルが産卵に来る。早朝、家族が国道や八幡の住宅街や敷地内の縁の下にタヌキがいたのを見た。」とも話してくれました。昔の自然が取り残されていたり、隠れやすい環境が市川の北部の八幡あたりにはあるようです。

(M. M.)

博物館で こんないきもの飼ってます！



テ ッ ポ ウ エ ビ

大きなはさみで、ブルドーザーのように砂を押します。そのために、水槽の砂はいつもどちらかにかたよっていて、平らに直しても、すぐ凸凹になってしまいます。掘るものが無くなっても、水槽の角で前進しようとしています。迷惑そうなのはイソギンチャクで、砂に埋もれたり露出したりします。これがカキのように、完全に体が固定していると同居は無理なのですが、イソギンチャクは体を伸び縮みさせて対抗することができます。



△水槽の右角にいます。

〇 〇

こんなふうには飼っています

〇 〇

※ ※ ※ レイアウト ※ ※ ※

- ・海 水 … 時々濃度をチェックします。
- ・ふ た … 水分が蒸発しないように、蓋をします。
海水の飛沫で周りを汚すのも防ぎます。
- ・底 沙 … しょっちゅう掘り返すので、よく洗った底砂を入れないと、水槽の水がいつでも濁ってしまいます。
カキ殻なども組み合わせて入れておくと、隠れ場所になります。

※ ※ ※ 餌 ※ ※ ※

週に1～2度、貝の剥き身を少量(1cm角ぐらい)やります。
餌を受け取ると、貝殻のすき間や掘った一番深い所に運んでから食べます。



◆大町公園より

- ・キビタキやアオジがスズメの若鳥の群れに混じっていました(11/2)。色合いは似ているのですがちょっとした動きが違います。
- ・アカゲラを見ました(11/2)。特徴的な鳴き声がしたので周辺を探したら姿を現しました。
- ・ウソを見ました(11/24)。ヒッフッと鳴いていました。

宮橋美弥子(自然博物館)

- ・ニホンアカガエルを見ました(11/26)。長田谷津の水路掃除をしていたら草の下に隠れていたアカガエルが何匹も飛び出してきました。大きなお腹で卵をたっぷり持っていました。
- ・斜面のコナラが色づきました(12/1)。遅れていたモミジ山の紅葉も見ごろになりました。
- ・ホソミオツネントンボがいつものように越冬体勢にはいりました(12/10)。トクサの先にとまってじっとしていました。

金子謙一(自然博物館)

- ・ヨコヅナカメムシの幼虫を見ました(11/5)。

◆大町周辺より

- ・動物園の臨時駐車場脇の路肩にホトケノザが咲いていました(11/5)。

以上 K.H. さん

◆柏井周辺より

- ・ワルナスビの実がなっていました(11/25)。リハビリセンター 近くの空き地でミニトマトのようになっていました。

吉田 毅さん(柏井在住)

◆北方1丁目周辺より

- ・税務署近くでタヌキを見ました(11/2)。こちらに気づいて側溝に隠れてしまいました。

熊谷宏尚さん(北方在住)

◆堀之内貝塚公園周辺より

- ・ベンケイヤマガラを見ました(11/25)。オーストンヤマガラと色合いは良く似ていて、大きさはヤマガラと変わりません。

◆坂川河口周辺より

- ・シメを今年の初認しました(11/3)。
- ・アリスイ1羽が、地面を敏捷にホッピングしながらエサ(アリ?)を採っていました(12/10)。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

◆行徳南部公園より

- ・ユズリハの木にたくさんの実がついていました(11/25)。

小川 晃(自然博物館)

11月7日は全国的に大風が吹き、北海道では竜巻による被害もでました。12月27日には、市川で大雨が降りました。



行事案内



自然観察会 お申し込みが必要な行事です。

市内の自然の豊かな場所に行って、親子で楽しく自然観察をします。 定員：先着 20 名

テーマ	日時	場所	受付開始日
春の谷津	4月8日(日) 午前	長田谷津	3月17日～

申し込み方法

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加したい行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

季節を感じる 散策会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テーマ	日時	場所
暮らしの中の木々(春)	4月15日(日) 午前10時～11時30分	国府台～真間周辺
青葉茂る谷津	5月20日(日) 午前10時～11時30分	長田谷津

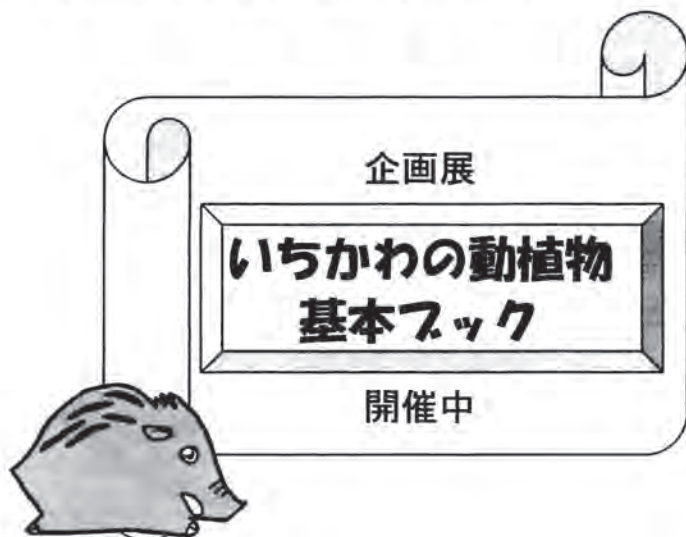
長田谷津ボランティア

湿地の環境整備をお手伝いして下さいませんか。(雨天中止)

- ・日時 4月22日㊥、5月27日㊥ 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

野草名札付けのお手伝いをして下さいませんか。(申し込み不要・雨天中止)

- ・日時 4月1日㊥、5月6日㊥ 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。



自然博物館の
ホームページからは
いちかわの動植物カード
が取り出せます

市立市川自然博物館だより
第18巻 第6号 (通巻第108号)
発行日/平成19年2月1日
編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町 284 番地
☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku>